

スポGOMIワールドカップ[®] 2025

大分 STAGE

Rule Book



CHANGE FOR THE BLUE とは



国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、「これ以上、海にごみを出さない」という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として2018年11月から推進しているプロジェクトです。
産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

ルール動画はこちら→



<基本事項>

- 指定された時間及びエリアで拾ったごみの種類・重さに応じて与えられる得点を競います。最も高得点を獲得したチームが勝利となります。
- ごみ拾いは1時間、分別は20分となります。時間をオーバーした場合には減点対象となり、3人で1チームとします。
- 競技エリア内には、安全とルール順守状況を確認するために、複数人の審判員を配置しています。ルール違反時には注意が入ることがあります。複数回注意されても是正されない場合には減点・失格の対象となります。
- ここで定めるルールとは別に交通ルールなどを順守して安全に実施してください。
- 特に道幅が狭い車道などは十分に注意してください。なお、競技中にケガや事故などが発生した場合は、速やかに周囲の審判員やスタッフに知らせ、指示を仰いでください

■ごみの種類とポイント

燃えるごみ [赤 30ℓごみ袋]

紙類／布類／雑誌類／弁当・食品容器包装ごみ／コンビニ袋など

※草／落ち葉／枝／家屋廃材などは含まず。

100 g → 10 point

燃えないごみ [青 30ℓごみ袋]

ビニール傘／ガラス類／鍋／フライパン／瀬戸物類／電池／ライター／鏡／金属類など

※小型電化製品（ドライヤー／シェーバーなど）程度の大きさは可。それ以外は粗大ごみ扱い。ブロックやレンガは含まず。

100 g → 10 point

ビン／缶 [赤 30ℓごみ袋]

中身を捨てたもの

100 g → 12 point

ペットボトル [青 30ℓごみ袋]

中身を捨てたもの

100 g → 25 point

たばこの吸殻 [半透明 レジ袋]

100 g → 150 point

粗大ごみ

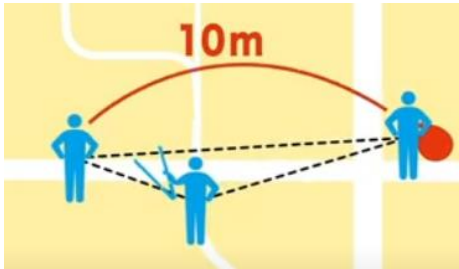
粗大ごみは処理が困難なため、拾わないものとする。
配布するごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）に入らない大きなごみ
例：扇風機／布団／座布団／消火器／コンクリートブロック／金庫／金属棒／タイヤ／コンロ／パソコン／ペーパーカー／炊飯器／など

マイナス 100 point

= 競技面でのルール =

1 : 先頭と最後のメンバーの間隔が10m以上離れないこと

※最後尾のメンバーがゴールラインを通過し、ゴール地点に立っている審判員に報告した時点がゴールとなります



2 : 分別ルールを守ること

分別タイムでしっかり分別を行う。

・拾っていけないゴミは以下

- ・既にごみ箱に入っているごみ
- ・ごみの収集場所に置いてあるごみ
- ・誰かが所有していると思われるごみ

※周囲の状況（整理して置いてある、最近も使った形跡がある等）から判断

・粗大ごみ

<定義>

配布するごみ袋

(700mm×500mm = 30%) に入らない大きなごみ

- 例：バッテリー／扇風機／布団／座布団
消火器／コンクリート／ブロック
金庫／金属棒／タイヤ／車輪
コンロ／パソコン／ベビーカー
炊飯器

- ・危険なごみ（注射器、ガスボンベなど）
- ・道路の側溝やドブ板を持ち上げて拾ったごみ



3 : 走らないこと（早歩きは可能）

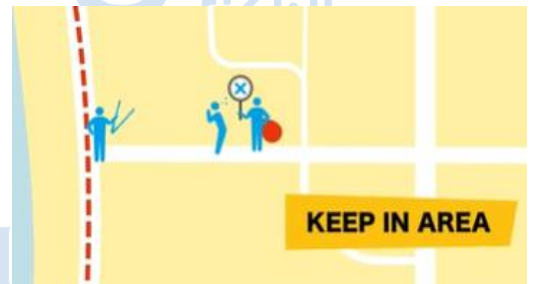
<定義>

歩く：常にどちらかの足が地面についた移動

走る：両足が同時に地面から離れる浮く、ジャンプする瞬間がある移動



4 : 競技エリアを守ること



5 : 立ち入り禁止エリアに入らない

- ・川や河川敷、用水路
- ・私有地



※駐車場について

コインパーキングは私有地ではあるが、誰でも使用できるという公共性が高いことから立ち入り可とする（企業・団体等専用の駐車場は不可とする）

6 : 交通ルールを守ること



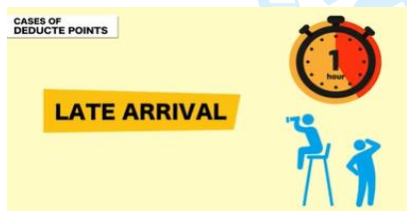
＝減点及び失格について＝

ルール違反時には審判から注意を受けることがあります。審判員から注意を受けて、繰り返し（2回以上）注意をしても従わない場合には減点、**悪質な場合には審判の判断で失格**にすることがあります。

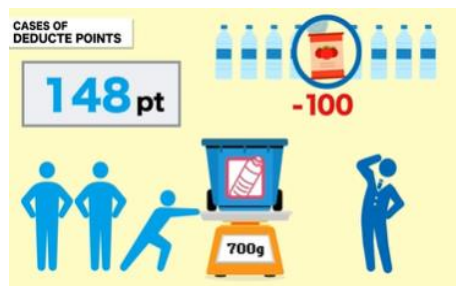
▼減点となるケース

- ・「競技面でのルール」に違反した場合
- ・時間内にゴミ拾いを終えて戻ってこない場合

-1分ごとにマイナス10点、10分以上遅刻の場合は失格
 (例)1～59秒は-10点、60～119秒は-20点



- ・計量時ごみの分別が正しくなされていない場合はマイナス100点
 -ごみを分別した後に再度計量を実施する



- ・「拾ってはいけないもの」（詳細は先述）を拾ってきた場合マイナス100点



▼失格となるケース

- ・電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動した場合



- ・落ちていたごみを拾う以外の方法でごみの重量を増やした場合
 (例) 水で重さをかさ増しする／ごみ箱のごみを加える／店舗からごみをもらう etc



- ・スポーツマンシップにのっとっていない行為

(例) 暴力的行為に及ぶ、他チームや審判に悪態をつく等

-審判及びスタッフ等の注意を聞かず、悪質な行為を続けた場合

-定められたごみ拾い終了時間から、10分以上遅刻して会場に戻ってきた場合

その他、ここに記載のない場合にも、危険・悪質、その他理由でスポーツごみ拾いの趣旨と相応しくないと判断される行為については、**減点・失格の対象といたします。**※審判員やスタッフが判断